

～記憶にない通行料

『知覚が変容する時間（力）』に興味があります。

お葬式でふと笑いが込み上げてしまう経験。一定の時間の後に、規律や場の雰囲気反する知覚が起こる時、生真面目な私は「知覚が変容した。」「対価に何を支払ったのか？」と考えます。

幾何学の分野には非ユークリッド幾何学という分野があります。この幾何学は名前の通りユークリッドではない幾何を指します。それまで権威的であった幾何空間に対して、新しい空間を確立して行く過程は数百年の数学者たちの偉業です。

ここでは瞬発的知力ではなく、長い過程の中でそれまでの過程を享受し、自分の現在の仕事に組み込んでいく知力。この一定の時間を持つ知性に、対価を支払うことを1つの前提だとして。この時、対岸で得た経験は覚えていても、何を支払ったのか記憶がないのです。

2019.10

2024.09改稿